

令和4年度ご利用者様及び保護者アンケート結果について

スマイルセンター倉吉

管理者 中江陽子

児童発達支援	利用者数 2 名	回答者数 1 名
放課後等デイ	利用者数 10 名	回答者数 9 名
生活介護	利用者数 7 名	回答者数 7 名

今回実施いたしましたアンケート結果について、ご利用者様及び保護者の皆様にご報告します。

スマイルセンター倉吉は、今回のアンケート結果を踏まえ、以下の点について改善を図ってまいります。

1、項目⑩の「職員の配置数や専門性は適切であるか 資質向上を図るために、研修が行われているか」に関し、職員の配置数は重要事項説明書に記載されていますが、わかりにくいため再度配置数や専門性など年度始めごとに資料をお配りし説明させていただきたいと思います。研修はコロナ禍で出来にくい日が続いていますが、徐々に行動制限もなくなってきており、参加できる研修にどんどん参加していきたいと思っています。

2、項目⑮の「緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか」に関し、現在最新のものを作成中ですので、出来上がりましたらお知らせし、いつでも見て頂けるように掲示していきます。

4、項目⑯の「非常災害時の発生に備え、定期的に避難訓練等が行われているか」に関して、現在水害・地震時の訓練を行っていますが、継続し行い、ノート・メールなどでお知らせを行っていきます。

保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

今後もしご意見・ご希望などありましたら、お気軽にお問い合わせください。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和5年3月31日

事業所名 スマイルセンター倉吉

保護者等数(児童数)11名 回収数 9名 割合 82 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	2	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1	0	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	2	0	0		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	9	0	0	0		
	5	<u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	9	0	0	0		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	3	1	1		
保護者 への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	1	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	0	0	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1	0	0		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	3	3	0		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	0		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	0	0	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	3	0	0		
非常時 等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	0		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	1	0	0		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	2	0	0		
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	8	1	0	0		
	18	事業所の支援に満足しているか	9	0	0	0		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和5年3月31日

事業所名 スマイルセンター倉吉

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	7	1	0		
	2	職員の配置数は適切である	7	1	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	4	1	3	室内はバリアフ リーになっている。 出入口に屋根がな い。	将来的に移転も踏まえ、検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目 標設定と振り返り）に、広く職員が参画して いる	5	3	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	4	4	0		今回の結果をもとに業務改善を行ってい きます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	4	1	3		公開内容を職員にも周知していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	0	2	6		現状、内部評価や保護者の意見を参考に改 善に努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	0	4	4	内部研修だけでなく外部研修にも参 加していきたい	外部研修にも出やすくなったので、参加して いくようにします。
適切な支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	6	1	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	6	2	0	現状の支援に満足 せず色々な活動を 考えながら支援を	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	5	2	1	メリハリのある生活 になるよう支援の 工夫が必要	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	6	2	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	6	2	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	6	2	0		

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	2	支援の合間に話し合いをしているが、支援後には行っていない	支援後、話し合いの場を設けていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	0	モニタリング結果をふまえ、支援計画について話し合いを行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	5	1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	2	0		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	2	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	1	7	地域交流はできていない	今後検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	3	5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2	2		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	2	2		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	2	0	相談を受けた際は職員間で話し合い返答を伝えるようにしているが十分とは言えない。	問題解決できるよう、研修などに参加し知識を高めていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1	7		保護者会を開催を検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	1	7	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0	1	7		
	35	個人情報に十分注意している	7	1	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	0	8		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	3	3		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	2	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	3	0	身体拘束について改めて学ぶ機会を設け皆で共有した	